

大隅のおばあちゃんの  
味を覚えてみる

「子育てが終わってから、お料理の専門学校に行ったの。なんにも褒められなかったけど、料理だけは褒められたから。昔っからこういうことするの、夢だったのよ」。リナで「からだを癒す郷土料理講座」の講師を務めている小玉裕子さんが教えてくれるのは、古くから地元で伝わる大隅の郷土料理。芋焼酎とみそと黒糖でことこと煮込んだ豚骨や、お酒のあてにもぴったりのピーナツ豆腐、鹿児島独特のでんぶんの団子汁……。どれもじんわりと五臓六腑にしみわたるおいしさです。「田舎だけど、食の宝庫だと思う」。そうにっこり笑

う小玉さんが料理の合間に間かせてくれる、昔の食のおはなしも面白い。ハンバーグやパスタもいいけど、地元の味をレパートリーに加えてみるって、素敵です。

設備も講座も充実！リナの調理室

IHコンロを備えた調理台が5台と、ひと通りの調理道具がそろったリナの調理室。小玉さんをはじめさまざまな講師の方をお迎えして講座を行っています。講座について詳しくは、2階 芸術文化学習プラザ（☎0994-35-1001）までお問い合わせください。



2F 調理室

Recipes

豚骨

- 【材料】
- 豚骨 8切
  - 大根 1/2本(500g)
  - ごぼう 100g
  - こんにゃく 100g
  - しょうが 薄切り(煮込み用)40g
  - 千切り(飾り用)10g
  - さやいんげん 4本
  - サラダ油 大さじ4
  - 芋焼酎 100cc
  - みそ 100g
  - 砂糖(黒糖) 40g
  - しょうゆ 大さじ1
- フライパンに油をひき、豚骨の両面に焼き目をつける。
  - ①に芋焼酎を入れ、ふたをして煮る。時々ふたをあけて肉を返しながら焼酎をよく蒸らし、油が透明になったらざるにあげて熱湯をかける。
  - 圧力鍋に②を入れ、水としょうが(薄切り)を入れ、圧力がかかってから15分煮る。
  - 圧力が下がったらふたをあけ、大根、ごぼう、こんにゃくを入れ、材料がひたひたになるまで水を足す。みそと砂糖を半量ずつ入れ、再度ふたをして15分圧力かける。
  - 圧力が下がったらふたをあけ、残りの分のみそと砂糖を入れ、最後にしょうゆを入れる。
  - 別ゆでしたさやいんげんと一緒に盛りつけ、千切りしょうがを飾る。

でんぶんの団子汁

- 【材料】
- 大根 100g
  - 里芋 100g
  - にんじん 100g
  - しいたけ 100g
  - 小ねぎ 3本
- 【A】
- 薄口しょうゆ 大さじ2
  - 本みりん 大さじ1
  - 塩 小さじ1/3
- 【だし】
- 煮干し 20g
  - 水 1ℓ
- 【でんぶん団子】
- さつま芋でんぶん 60g
  - 熱湯 120cc
- 大根、里芋、にんじんはいちよう切り。しいたけは薄切りにし、石づきはさいて使う。
  - でんぶん粉に熱湯を少しずつ加え、木べらで混ぜる。ゆるいときは火にかけ、透明になるまで混ぜる。
  - 鍋に水と煮干しを入れ、大根、里芋、にんじん、しいたけを加えて煮る。
  - Aを加え、②をスプーンですくって落とし、透明になったら器に盛り、小ねぎを散らす。

込み入った料理ではないからすぐ覚えられますよ



講師の小玉裕子さん

# For Friends 「友達」とは始めるリナシティ

コスプレ撮影会を  
楽しんでみる

2F 茶室



伝統文化だけでなく、ポップカルチャーを楽しむ場としても茶室を活用。そんな使い方も、大隅半島唯一のポップカルチャーイベント「リナなかる！」を開催している、リナならではのかもしれません。最近、じわじわと人気を集めているのが、茶室でのコスプレ撮影会。和室がない家も増えている現代。リナにある伝統的な数寄屋づくりの茶室は、特に和風キャラクターのコスプレ撮影をするには、もってこいなのだとか。枠にとらわれない自由な使い方、リナは応援しています！

仲間とDIYを  
はじめてみる

2F アトリエ(工芸)

近年、男性だけでなく女性にも人気広がっているDIY。はじめてみたいけど、作業場所がないからと諦めている方も多いのではないのでしょうか。実は、P4でも紹介した、リナ2階の「アトリエ(工芸)」ではDIYを楽しむこともできるんです。道具や材料は持ち込みですが、広い作業台で気兼ねなく作業ができる貴重な環境。利用料も、1人1時間110円(一部利用)とリーズナブルです。あなたもリナでDIYデビューしてみませんか？

木材はホームセンターなどでカットしてもらって手間が省けます。



塗って、組み立てて釘を打つだけ。ディアウォールの棚ができてあがり！

ボードゲームを  
嗜んでみる

2F 研修室1



さまざまなサークル活動の拠点にもなっているリナ。たとえば、毎月第1日曜日の「研修室1」(収容人数20名)は、ボードゲーム場と化しています。主催しているのは、ボードゲーム愛好家の妹尾義人さん。「ボードゲーム体験会」と題し、世界中のさまざまなボードゲームを、長いときは朝9時から夜10時まで一日中楽しんでいるそう。ネットでの呼びかけで集まる参加者は、毎回5~10人程度。年齢も仕事も異なる人たちが、ボードゲームを通じてコミュニケーションを楽しんでいます。

